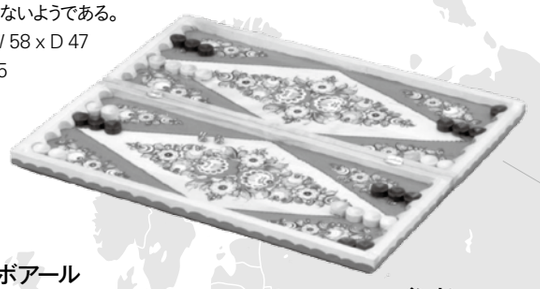
集めてみました世界の

みんぱくが所蔵している世界のゲーム・ゲーム盤を集めてみました。
双六やチェスや将棋が世界各地にあることがわかります。
しかしゲーム盤の形やルールは地域によってさまざまなようです。

※寸法の単位はセンチメートルです。

ロシア
かつてのオスマン帝国とともに広がったゲーム、タブラのボード。バックギャモンの先祖ともいわれ、東ヨーロッパではよく見かける。なお本資料のようにボード全体に模様が描かれているものは、現地ではあまり見られないようである。
H 2.9 x W 58 x D 47
H0213285



モンゴル
モンゴル将棋（シャタル）のボードと駒。シャタルはチェスのことでルールも同じである。
H 3.0 x W 41 x D 41
H0203485

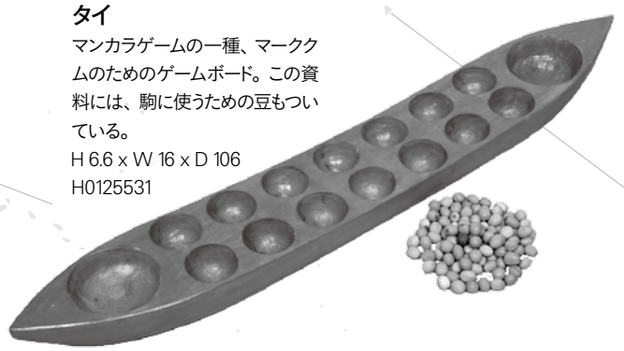
日本（三重県）
碁盤。裏側の中央部分にへこみ（へそ）があり、くちなしの実に似た形の足がつく。足は和釘で固定されており、古く、使い込まれたものであることがわかる。
H 26 x W 42 x D 49
H0032210

アメリカ合衆国
中国将棋の一式。7 種類 16 枚の駒をつかい二人で遊ぶ。ボードの中央には陣地を分ける河があり、象（または相）の駒は河を渡れない。中国では公園などの屋外で対戦する光景がよく見られる。
H 27 x W 38 x D 6.3
H0269022

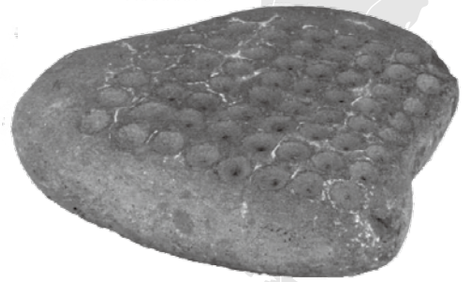
コートジボアール
セヌフォ人の彫刻師が制作したマンカラ用のゲームボード。中央に1頭のワニが浮き彫りで表され、両側にはワニとヒツジの頭がかたどられている。
H 23 x W 24 x D 90
H0030650

インド
インド流のチェス、チャトゥル・アンガム。王、大臣、ゾウ、戦車、ウマ、歩兵からなる駒を使う。チェスや将棋は、このゲームを起源として形を変えてきたものといわれる。
H 1.6 x W 51 x D 55
H0092922

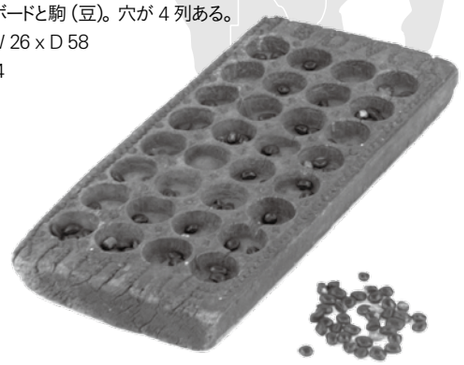
タイ
マンカラゲームの一種、マーククムのためのゲームボード。この資料には、駒に使うための豆もついている。
H 6.6 x W 16 x D 106
H0125531



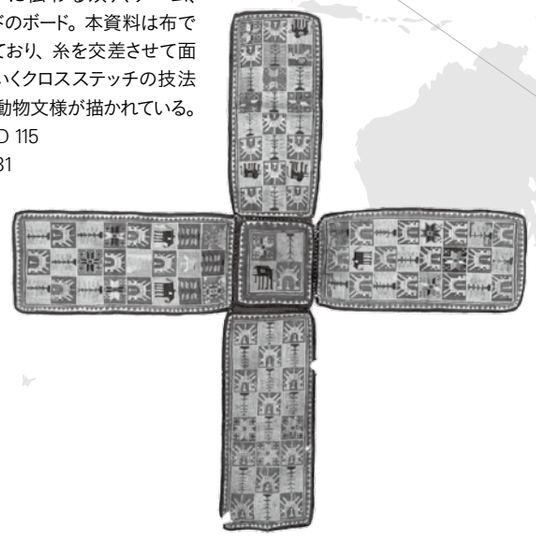
アメリカ合衆国
（ハワイ諸島モロカイ島）
ハワイの伝統的な遊び、コナネのためのゲームボード。くぼみに白と黒の駒を並べ、相手の駒を飛び越して取る。ルールはチェッカーに似ている。
H 15 x W 54 x D 50
H0080979



ザイール
ワレガの人びとが使用していたマンカラゲームのボードと駒（豆）。穴が 4 列ある。
H 5.5 x W 26 x D 58
H0118754



パキスタン
南アジアに伝わる双六ゲーム、チョーパドのボード。本資料は布でつくられており、糸を交差させて面をうめていくクロスステッチの技法で、花や動物文様が描かれている。
W 112 x D 115
H0238031



マレーシア
マンカラゲームの一種、チョンカのためのゲームボード。ふたがついており、全体が魚の形になっている。
H 7.1 x W 18 x D 120
H0150363

マンカラとは
くぼみに入れた石を移動させて競う対戦ゲーム。
地域によって名称、ルールはさまざまである。